

愛知県

「シニア災害ボランティア セミナー」開催報告



平成30年1月21日（日）、豊田市生涯学習センター小原交流館ホールにて愛知県と当協会主催による「シニア災害ボランティアセミナー」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して杉山豊田市副市長と相津愛知県防災局長が挨拶し、はじめに認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事栗田暢之氏による講演、続いて認定特定非営利活動法人キャンパー代表理事飯田芳幸氏による講演が行われました。



栗田 暢之 氏

1964年生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科修了。阪神・淡路大震災でコーディネーターとして被災者支援にあたったことを契機に、現在までに約40カ所の被災地で支援活動を展開。2016年に設立した「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」代表理事を務めるほか、岐阜大学・至学館大学の非常勤講師としても活躍。

講演1
14:10～15:10

災害時のボランティア活動
～熊本地震・九州北部豪雨などの
現場から

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

熊本地震や九州北部豪雨を取り上げ、被災地の実態や、現地での様々な活動を紹介しつつ、ボランティアニーズの変化やNPO法人の活動、ボランティアセンターの役

割、日頃からの地域の防災力を高める活動が重要であることについて講演頂きました。

講演2
15:20～16:20

シニア世代の災害ボランティア活動と
今後の課題

認定特定非営利活動法人キャンパー

代表理事 飯田 芳幸 氏

被災地における「炊き出し」について、キャンパーが反省点を少しずつ改善していく様子を具体的に説明して頂きました。また、「炊き出しのシステム化」や、高齢となったキャンパーのスタッフが若者と連携して活動した事例について講演頂きました。



飯田 芳幸 氏

2004年の中越地震の際、新潟県小国町（現長岡市）で有志の炊き出し活動をしたことをきっかけに、NPO法人キャンパーを設立。以後、能登半島地震・東北地方太平洋沖地震・熊本地震などに出動し、精力的な活動を展開。平時には、市町村防災訓練等で炊き出し訓練指導や災害ボランティア講座の講演等を行っている。

災害時のボランティア活動において、日頃からの地域活動の重要性や、自分だけではなく家族等を含めた「自助」の必要性を改めて認識させられ、大変有意義なシンポジウムとなりました。